



NEWS

THE TETSUJIN NEWS

株式会社東部がお届けするインフォメーション・レター

発行所 株式会社東部鉄人二ユース事務局
神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4
TEL.042-764-4128
FAX.042-762-9593
編集 鈴木木子
https://www.tobu21.co.jp

Vol.145
2022
9月号

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

e-pile next

鋼管杭メーカー兼施工会社の強み

共同住宅新築工事

本件は、北綾瀬駅にほど近い、駐車場跡地に建設される地上5階建ての施住宅付共同住宅新築工事です。現地ボーリング調査より杭先端深度を54m付近とした、e-pile next最大径での設計検討を考えたが、搬入状況から最大機械での施工が困難なため、設計内容を見直すことになりました。加えて工期の厳しい案件というご相談のため、迅速な対応を求められました。元請営業担当者様、設計担当者様と、弊社設計・工事担当とで、コロナ禍ということもありwebでの打合せと設計検討を何度も重ね、最良の設計検討ができ、施工面でも、敷地をフル活用する事で、施工機械を2台/工期17日間とした工期短縮のご提案も含め、ご採用いただく事ができました。地盤データや現場状況に適したご相談を直にできる、鋼管杭メーカー兼施工会社という強みを活かした責任施工で無事工期内に完工できました。

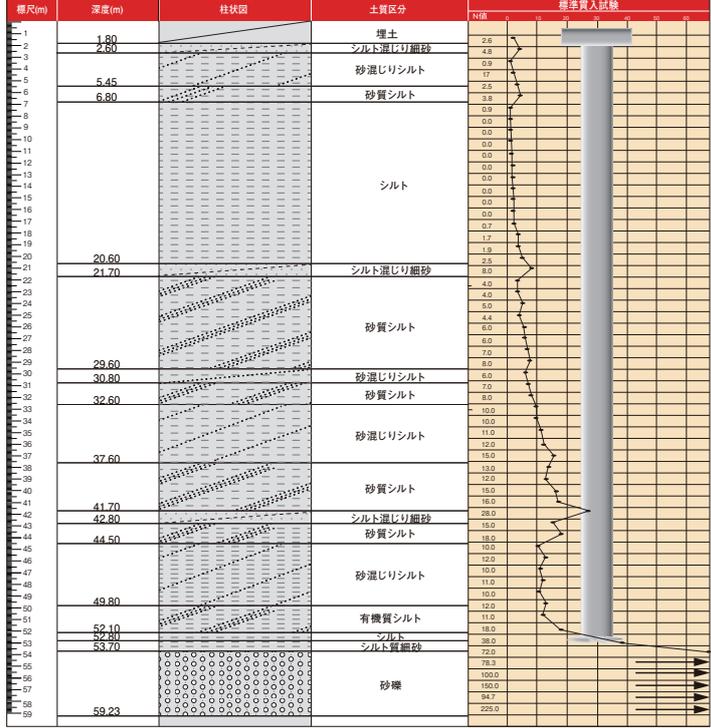
元請様には搬入誘導や養生鉄板、近隣への安全確保など、多大なご協力いただき、誠に有り難うございました。



工事概要

工事名	某施住宅付共同住宅新築工事	杭径	φ406.4mm
施工地	足立区谷中	拡翼径	Dw 1000mm・900mm、800mm
用途	共同住宅	拡頭径	-
構造	WRC造 地下5階	深度	SGL -53.0m ~ -54.0m
建築面積	1108.13㎡	支持力	860kN ~ 1,230kN
工期	2022年7月4日~2022年7月25日	本数	42本

ボーリング柱状図



公共土木・公共建築での活用拡大
国土交通省「NETIS」
登録番号：KT-160071-A
国土交通大臣認定
TACP-0483 砂質地盤(硬質地盤含む)
TACP-0484 粘土質地盤
日本環境協会
エコマーク認定 08 131022号

■ 全ての鍵は杭先端にあり
杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。
■ 貫入性の問題を・・・「**菱型穴**」により解決しました。
■ 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。
■ コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。



建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。



検索 e-pile

抗基礎の新たな可能性へ挑戦
Tobu 株式会社 東部
https://e-pile.com

■ 本社
〒252-0134
神奈川県相模原市緑区下九沢 1507-5
TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971
■ 本店/ 経理室
〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4
TEL.042-764-4128 FAX.042-762-9593

■ 東京営業所
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-2
朝日生命幡ヶ谷ビル6階
TEL.03-3376-0123 FAX.03-3376-0124
■ 相模原機材センター
〒252-0101 神奈川県相模原市緑区町屋1-4-37
TEL.042-851-2681 FAX.042-851-2682



中小企業等に対する事業再構築支援

主な申請枠の補助金額・補助率

申請類型	補助上限額(※1)	補助率
回復・再生応援枠 (引き続き業況が厳しい事業者や事業再生に取り組む事業者に対する支援)	500万円、1,000万円、 1,500万円(※2)	中小3/4 中堅2/3
原油価格・物価高騰等緊急対策枠(緊急対策枠) (原油価格物価高騰等の、予期せぬ経済環境の変化の影響を受けている事業者に対する支援)	1,000万円、2,000万円、 3,000万円、4,000万円 (※2)	中小3/4 中堅2/3 (※3)
通常枠 (事業再構築に取り組む事業者に対する支援)	2,000万円、4,000万円、 6,000万円、8,000万円 (※2)	中小2/3 中堅1/2 (※4)
グリーン成長枠 (研究開発・技術開発又は人材育成を行いながら、グリーン成長戦略「実行計画」4分野の課題の解決に資する取組を行う事業者に対する支援)	中小1億円、中堅1.5億円	中小1/2 中堅1/3

事業再構築支援の第7回目から追加で審査項目が増えるなど、経済産業省では新型コロナの影響を受けつつ、加えてウクライナ情勢の緊迫化等による原油価格・物価高騰等により業況が厳しい中小企業等が行う、新型コロナをはじめとする感染症の流行など、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応した、危機に強い事業への事業再構築の取組に対し、特別枠の創設や加点点措置により重点的支援を行っています。

緊急対策枠の主な補助対象要件

- ① 足許で原油価格・物価高騰等により2022年1月以降の売上高(又は付加価値額)が、2019~2021年同月と比較して10%(付加価値額の場合15%)以上減少していること(※)
- ② 事業再構築指針に沿った事業計画を認定経営革新等支援機関と策定すること等

(※)該当する場合は、他の申請枠での申請の場合でも加点点

- (※1) 補助下限額は100万円 (※2) 従業員規模により異なる
 (※3) 従業員規模に応じ、500、1,000、1,500万円超は2/3(中小)、1/2(中堅)
 (※4) 6,000万円超は1/2(中小のみ)、4,000万円超は1/3(中堅のみ)



▲経済産業省HP

※詳しくは経済産業省のホームページをご覧ください。

ワンポイント 健康コラム

【残暑バテの原因と予防法】

夏の終わりから秋にかけての体調に要注意!

■残暑バテとは?

残暑バテとは、夏の終わりから10月頃にかけて、残暑が原因で起こる体調不良です。

近年は残暑が厳しい年が増え、昼夜の温度差が大きくなっているため、残暑バテが起きやすくなっているといわれています。残暑バテの主な症状は、疲労感(だるさ)、立ちくらみ・めまい、頭痛、食欲不振や胃腸不良、微熱などが挙げられます。



■残暑バテの原因って?

①夏の暑さによる疲れの蓄積

夏の暑さが少し和らいでくると、それまでの疲れがドツと出てしまうことがあります。特に季節の変わり目は体調を崩しやすいなかで、秋の兆しが見えたあとで再び残暑が続いてしまうと、身体が暑さに対応できない状態になりがちです。

②寒暖差による自律神経の乱れ

秋に残暑が続くと朝晩の涼しい気温と昼間の暑さとの気温の差が激しくなります。また、エアコンによる室内と室外の気温差による影響と重なって、この時期は気温の寒暖差による自律神経の乱れが起きやすくなります。

③身体の冷え

朝晩が涼しくなってきたにもかかわらず、昼間の暑さが継続していることから、アイスなどの冷たいものを食べすぎたり、朝晩でも薄着のまま過ごしたりしているうちに、身体の芯が冷えてしまいます。身体の冷えは、血のめぐりを悪くして内臓の機能を低下させてしまいます。



■残暑バテの予防方法

屋間の暑さが続いていても、エアコンの効き過ぎには敏感になりましょう。少しでも効きすぎているなど感じたら、設定温度を変えたり上着を羽織ったりするようにします。また、秋が近づいたら積極的に身体を温めてくれる食品を摂るようにしましょう。ネギや生姜、人参などの根菜類がおすすめです。また、夏の疲れを取り去るために、豚肉やにんにく、納豆などビタミンBが多く含まれている食品もおすすめです。身体のダルさを感じたら、ゆっくりとお風呂につかり、睡眠を多くとるように心がけましょう。日ごろから軽い運動を日課にするのも効果的です。



経理マンが行く

初秋

まだまだ暑い日が続きますが、徐々に雨も多くなり、季節が緩やかに変わって秋になりつつあります。長いお盆休みも一通り終えて、仕事モードにスイッチが入りましたでしょうか。中々仕事モードに気持ちが入らない場合、たまにはこんな風に気持ちを切り替えて



います。
仕事とは=志事ではないかと。最初は誰も志があって始めた事です。

初心に返り、もう一度自分の仕事を見直してみると、これがまた意外と新鮮なんです。最近ありがたい事に、とても業務が忙しい毎日です。ですが細かい事にチェックが行き届かずミスもあり…。その時は気が引き締まるのですが、また時間が経つと、気持ちが緩んでしまいます。長い間、同じ業務をして



いれば、勘だけで流れ作業が出来てしまいます。でも、その流れ作業はどれ一つとっても同じではありません。同じように見えているだけで、同じではないのです。これは当社でいうと、どの部署でも言えることで、同じミスをしないつもりでも、やはり気が緩んでいるとミスをする社員も出てきます。もしかしたらお客様を困惑させる事もあったかもしれません。同じ社内の人達を不愉快にしてしまう事もあったかもしれません。



そうならないように、ダラダラと目の前の仕事を「流す」のではなく、**初心に返って仕事をしてみると、新鮮な気持ちになれるのでオススメです。**また、そういう時に「こうしたらいい」という新しい発想も出やすく、さらにもう一歩前へ

進める糧になります。これから日本の未来は「真面目に」仕事をしてきた人達が活躍をしていく気がしてなりません。真面目に一つの事を誠実にこなしていくという、昔の日本がそうであったように、日本も今初心に戻る時のような気がします。



また昔のように元気な日本になり、元気な毎日が送れる人達が街にあふれますように…そして微力ながら私も周りが元気になるように、力になれば嬉しい限りです。

